

令和 6 年度モニタリングシート

【施設名等】

施設名	大洲市交流促進センター鹿野川荘	位置	大洲市肱川町宇和川 588 番地 1
指定管理者名	ひじかわ開発株式会社	所管課	肱川支所 TEL:0893-34-2311

【施設の概要】

設置年月日	平成 9 年 4 月 1 日	構造	鉄筋コンクリート 3 階建
設置目的	都市との交流を促進するための拠点施設、市民の健康及び休養施設		
施設機能	1 階 風呂・休憩室・小宴会場・レストラン 2 階 客室(和室)・大宴会場 3 階 客室(洋室)		
利用料金等	利用料金については、大洲市交流促進センター条例に規定する範囲内で、市長の承認を得て指定管理者が定める。		
開館・閉館	休館日 なし(メンテナンス日を除く) 開館時間 午前 11 時から午後 9 時 宿泊者:午後 3 時から利用最終日の午前 10 時		
指定管理業務内容	①鹿野川荘の施設又は設備の利用の許可に関する業務 ②鹿野川荘の維持管理に関する業務 ③鹿野川荘の利用に係る料金の収受に関する業務 ④鹿野川荘の設置目的を発揮するための事業に関する業務 ⑤上記業務のほか、鹿野川荘の運営に関する事務のうち、市長のみが行うことのできる権限に関する事務を除く		
施設管理体制	ひじかわ開発株式会社職員(正社員 8 名・臨時パート職員 10 名)		

【施設利用者数】

(単位:人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
R6 年度	3,257	3,565	3,355	2,619	3,198	2,889	3,348
R5 年度	3,827	4,040	3,066	3,044	2,624	661	1,170
比較	▲570	▲475	289	▲425	574	2,228	2,178
	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	
R6 年度	3,378	3,883	3,971	3,460	3,716	40,639	
R5 年度	3,727	4,003	4,158	3,163	3,932	37,415	
比較	▲349	▲120	▲187	297	▲216	3,224	

【指定管理者としての収入・支出(決算)】

(単位:円)

収入内訳	収入金額	支出内訳	支出金額
純売上高	101,199,985円	仕入高	27,502,234円
雑収入	170,603円	人件費	38,937,653円
指定管理料	28,270,000円	管理経費	59,955,316円
休業補償	0円	法人税、住民税及び事業税	209,500円
給付金・助成金	0円	固定資産除却損	1,671,077円
合計	129,640,588円	合計	128,275,780円

【サービス向上に向けた取り組み】

R6年度	<p>年度当初から12月頃までは需要回復に対して人手が不足したことから、営業の補助として日雇いアルバイトを採用、宴会等送迎の対応として外注ドライバーを採用し、利用者サービスの維持に努めた。また、その後においても人手の確保に努め、毎週木曜日を休業日としていた鹿野川荘内レストランについて年中無休の営業に戻し、サービスの確保に努めた。</p>
R5年度	<p>新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」となり、人が集まりやすくなったことから、規模の大きい集客が可能となった。営業活動も従来の形態へ戻し、対面での営業活動も再開、ソーシャルディスタンスを気にせず接客をすることが可能となった。</p> <p>宴会需要の急速な回復により、労働力が不足することとなったが、お客様のご要望を最大限受け入れられるよう、外注及び日雇いアルバイトにより人材の確保を行った。</p>

【利用者から要望と対応状況】

利用者からの苦情・要望等	利用者からの苦情・要望への対応
BS放送が映らない	テレビ設備の兼ね合いから、地元テレビ組合との協議が必要となったため、現在、継続して検討を行っている。
駐車場が狭い、身障者枠に水が溜まる	玄関前駐車場の舗装修繕に際して、レベルの取り直しを行うことで水溜まりの解消を図った。また、駐車スペースの枠線を引き直し、区画の整理を行った。

【指定管理者の自己検証】

<p>令和6年度においても施設利用の需要回復は順調なものとなった。その一方で全国的に問題となっている慢性的な人手不足は当施設も例外でなく、年度当初から12月頃までは需要に対してサービスの提供が満足にできないケースも発生することとなった。</p> <p>年明け以降は退職者の復職などにより職員数が戻り、人手不足の関係から毎週木曜日を定休日としていた施設内レストランも年中無休に戻すことができた。また、一番の課題としていた原価管理についても人手不足の解消に伴い、徐々にではあるが改善が進んでおり、飲食原価率は前期48.0%に対して今期42.1%と5.9ポイント低減することができた。しかしながら、昨今の世界情勢から物価高騰は続いており、今後も原価管理は最重課題として取り組む必要があると考えている。</p>

【施設所管課の検証・評価】

<p>法定点検や報告など、施設管理については概ね良好であり、仕様書等に基づいた管理・運営が行われている。</p> <p>全国的に問題となっている人手不足により、業務に支障が出るケースもあったが、内部の調整や努力により乗り越え、現在では落ち着きが見られるようになった。また、人手不足の解消により、今まで突き詰められていなかった原価率管理について適正化が進められ、特に飲食原価率においては低減が図られていることが伺える。</p> <p>仕入価格等の高騰は未だ続くことが予測されるが、好評を得ているサービスの質を落とすことなく、健全な運営に向けて、原価計算や分析等に取り組んでいただきたい。</p>
--